

整理番号:F09666A1 発送番号:344411 発送日:平成15年 9月30日 1/E

拒絶査定

特許出願の番号	特願2001-398555
起案日	平成15年 9月26日
特許庁審査官	日下 善之 8323 5D00
発明の名称	ディスクカートリッジ及びディスクドライブ装置
特許出願人	三星電子株式会社
代理人	志賀 正武 (外 1名)

この出願については、平成15年 5月30日付け拒絶理由通知書に記載した理由によって、拒絶をすべきものである。

なお、意見書及び手続補正書の内容を検討したが、拒絶理由を覆すに足りる根拠が見いだせない。

備考

出願人は請求項を補正し、意見書において、本願発明では、認識手段がディスクカートリッジのケースに一系列に複数備えられているので、ディスクドライブ装置に挿入する挿入方向に沿って複数の認識手段（認識ホール及び認識板）を一系列に配置することも可能であり、これによりディスクドライブ装置にディスクを認識する探針部を1つ備えるだけで、ディスクの多様な情報を検出することができると主張している。

しかしながら、複数の認識ホールを一系列に設けることも当該技術分野において周知である（例えば、特開平10-3775号公報、特開平10-302438号公報等参照）ので、補正後の各請求項にかかる発明も引用文献及び周知技術から容易に発明することができたものと認められる。

上記はファイルに記録されている事項と相違ないことを認証する。

認証日 平成15年 9月29日 経済産業事務官 高安 広明

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2001-398555
起案日	平成15年 5月30日
特許庁審査官	日下 善之 8323 5D00
特許出願人代理人	志賀 正武(外 1名) 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項1-10
- ・引用文献1、2
- ・備考

引用文献1、2には、識別部材の移動によりディスクの種類を表すようにしたものが記載されている。

また、引用文献1には、調整ホールに相当する構成も記載されている(第4頁右欄第34~37行及び図4b)。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開2000-11577号公報
2. 特開平10-199203号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 G11B23/28

・ 先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第4部情報記録

TEL. 03 (3581) 1101 内線3550